

専門外来 医師紹介

眼科

なかがわ まさき
仲河 正樹 医師



〈プロフィール〉
平成20年3月 川崎医科大学卒業
平成20年4月 川崎医科大学附属病院初期研修
平成22年4月 川崎医科大学眼科学教室 臨床助教
平成27年4月 和歌山県立医科大学附属病院 眼科 学内助教
平成29年5月 済生会有田病院 眼科
現在に至る

平成29年5月から、第2・4水曜日午後の眼科外来を担当しております。眼科では、白内障、緑内障など老化に伴って疾病率が増悪する疾患だけでなく、糖尿病、高血圧症、動脈硬化などの全身疾患からの眼合併症も多く、他科との連携の上、診察、診療に当たらせていただいております。

また、検診による眼底検査も行い、眼科疾病の早期発見に尽力しております。これからよろしくお願いたします。

神経内科

なかがやま よしあき
中山 宜昭 医師



〈プロフィール〉
平成20年3月 和歌山県立医科大学卒業
平成20年4月 和歌山県立医科大学附属病院にて臨床研修
平成22年4月 和歌山県立医科大学 神経内科 学内助教
平成24年4月 和歌山ろうさい病院 神経内科 医員
平成25年8月 和歌山県立医科大学 神経内科 学内助教
現在に至る

平成29年4月より、水曜午前に神経内科外来を担当させていただいております中山宜昭と申します。

神経内科では主に、パーキンソン病などの神経難病や認知症、そのほか頭痛やしびれ等でお困りの患者さんを診察しています。とくに神経難病認知症患者さんの療養ではご家族さんや介護スタッフをはじめ多くの方々に助けさせていただいております。周りで支えられている皆さんとも協力しつつ、患者さんがより良い生活を送るお手伝いのできればと考えています。よろしくお願いたします。

●第41回 桜ヶ丘病院研究発表会(平成29年7月15日)

今年も多職種参加の研究発表会を開催し、各部門・委員会から8演題の発表がありました。最優秀賞には5階病棟 古川 浩美 介護福祉士の演題「入浴時の予洗いに着目して～頭皮トラブル患者を通して～」が選ばれました。

また、特別講演として医療法人 明成会 紀伊クリニック 院長 山野 雅弘 先生を招いて「ケアの質の向上を目指して～認知症ケアを始めとしたケアの質を考えてみましょう～」をテーマに貴重なお話を聞くことが出来ました。(於:橘家)



皮膚科 ～液体窒素を使ったイボ治療(凍結療法)～
毎月第2・4木曜日

凍結療法とは、マイナス196℃の液体窒素を染み込ませた綿棒を患部に押し当て、急激に冷やすことで低温やけどの状態を作り、皮膚表面の異常組織を壊死させます。これにより、患部の下の細胞が活発に新陳代謝を繰り返すようになり、新しい皮膚が再生され、イボを除去することができます。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 〈利点〉 | (注意点) |
| ・健康保険が適用される | 治療中・治療後に痛みを伴う |
| ・治療時間が短い | 複数回の通院が必要になる場合がある |
| ・麻酔不要 | |
- イボ治療をお考えの方は是非一度ご相談下さい。

皮膚科診察日:毎週木曜
(詳細は裏面診療担当表参照)
お問合せ:0737-83-0078

●第67回 日本病院学会(平成29年7月20日・21日)

日本病院学会が神戸国際会議場ならびに神戸ポートピアホテルにて開催され、全国の病院関係者2,284名が参加しました。

また2日間で737の演題発表が行われました。

当院演題発表:林 好加 看護主任
「在宅医療を目指して
～家族の希望に沿えなかった
一事例を通して～」



●平成28年度実績発表会
(平成29年5月19日)

当院では毎年5月に実績発表会を開催しています。

各部署の昨年度の実績や研修参加の報告をはじめ、各委員会の主な取り組みや活動結果を報告します。

この実績報告の結果を踏まえ、今後も患者さんに満足いただける病院づくりに努めていきたいと思ひます。



●第57回QCサークル
活動発表会
(平成29年5月31日)

QC活動は、患者さんの満足度向上や業務効率改善を目的に行っており、今回は3チームが発表しました。

〈優秀賞〉

◆クリップチーム(総務課)
「職員情報の管理に係る事務処理時間の短縮」

◆だるまチーム(医事課)
「健診業務手順の見直し」

〈努力賞〉
◆キッチンチーム(栄養課)
「朝食へのソフト食導入を目指して～調理時間短縮編～」



●病棟七夕会
(平成29年7月6日)

病棟七夕会を行い、15名の患者さんが参加されました。

みんな懐かしい気持ちで笹飾りを作り、その後は歌をうたったり紙芝居を見たりして楽しみました。

患者さんの願いが星へ届きますように…

